

# ～同和問題について～

同和問題(部落差別)とは、ある特定の地域に生まれた、またはその地域に住んでいるという理由で差別される不合理な人権問題です。つまり、本人には何の責任もないことで不平等・不利益を被り、自由と平等が侵害されるというものです。



同和問題はもう昔の話ですよね？

そんなことはありません！！  
さまざまな場面で存在する部落差別により、  
現在も辛い思いをしている人がいます。



### 事例1

結婚、就職等での差別



### 事例2

差別落書き、  
インターネット上での  
差別書き込み



### 事例3

土地差別



### 事例4

偏見や差別意識に  
基づく身元調査等



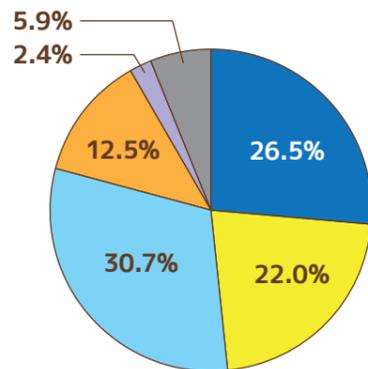
このような現状があり、**部落差別の解消の推進に関する法律(部落差別解消推進法)**ができました。

では、私たちに  
できることは  
なんだろう？



### 同和問題の解決に向けての思い

- 私にできることからやっていきたい(26.5%)
- 自分は何もできないので行政や学校にお任せしたい(22.0%)
- 何も触れずにそっとしておいたほうが自然と無くなってしまふ。取り立てて問題にすることで広がってしまう(30.7%)
- もう誰も差別していない(12.5%)
- その他(2.4%)
- 無回答(5.9%)



令和6年7月に実施した市民意識調査の結果、同和問題の解決に向けて、約3割の方が「何も触れずにそっとしておいた方がいい」という考えを持っていることが分かりました。ですが、正しい情報を知らないことから不安が生まれ、不安から差別や偏見につながっていきます。差別をなくすために大切なのは、繰り返し正しい知識を身につけるとともに、差別問題に出会った時に、間違いを指摘できる力を育成することです。

### 私たちにできること

- インターネット上の不確かな情報等をうのみにしない、拡散しない
- 地域や職場の人権学習会に参加して、正しい知識を身につける
- 住民票などの不正請求をなくすために、「事前登録型本人通知制度」に登録する(市役所市民課)
- 差別を受けたり見かけたりしたら、相談する(大津地方法務局人権擁護課／(公財)滋賀県人権センター人権相談室)

スマホで  
簡単登録!



# つながり 3

## 「人権」

それはあなたを守るもの  
空気のように当たり前にあるもの  
身近すぎて気が付かないこともあるかも  
ちょっとお話してみませんか



いちごいちえ  
一期一会  
出会う人は  
自分と考えがちがう  
かもしれない  
障害を持つている  
かもしれない  
病気を患っている  
かもしれない  
外国人  
かもしれない  
ただで7億人もいるこの世界で…  
出会えるのは…  
キセキとしかいえない  
せつかく出会えたのだから  
おたがいの個性を知り  
もつと大切にしていこう

【第33回ふれあいま展 ポスターの部・詩の部 入賞作品】

自治会人権・同和問題学習会や研修会などでも、このリーフレットをご活用ください

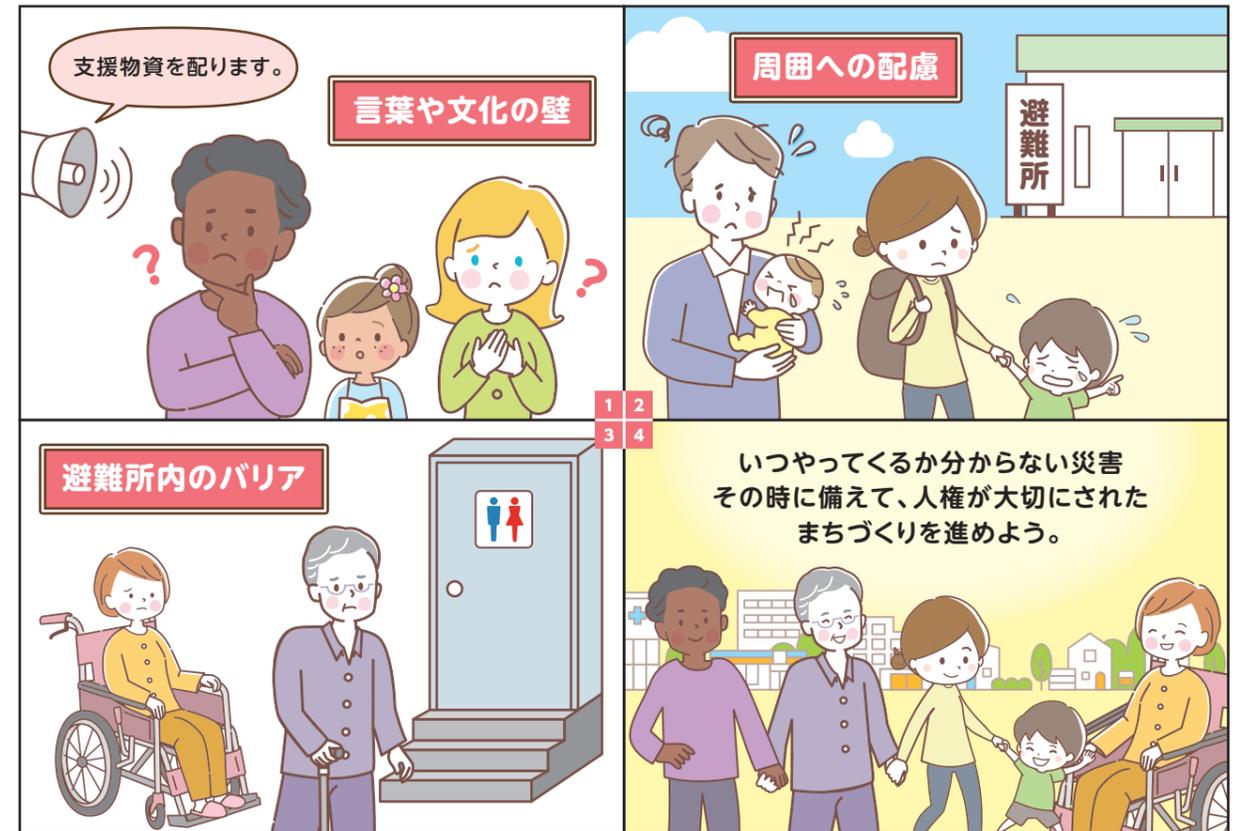
守山市

発行：守山市総合政策部 人権政策課  
2025年(令和7年)3月発行

# ～あなたは大丈夫? ネットで人を傷つけないために～



# ～誰もが取り残されず、大切にされるためには～



## 考えてみよう・話してみよう

インターネットのトラブルを防ぎ、SNSと上手に付き合うためには  
どんなことが大切だと思いますか？



Blank space for writing answers to the question above.

### 啓発動画「インターネットはヒトを傷つけるモノじゃない。」公開中!

- SNS・掲示板等での匿名の誹謗中傷編  
「その言葉、ちゃんと名乗って言えますか?」
- SNS等での情報の拡散による誹謗中傷編  
「デマ情報を拡散することも、誹謗中傷です。」
- 学校等でのSNSいじめ編  
「あなたの一歩が、ネットいじめに悩んでいる人を救います。」
- 著名人への誹謗中傷編  
「有名人だって傷つく。あたりまえのこと。」



▲啓発動画 (法務省HP)



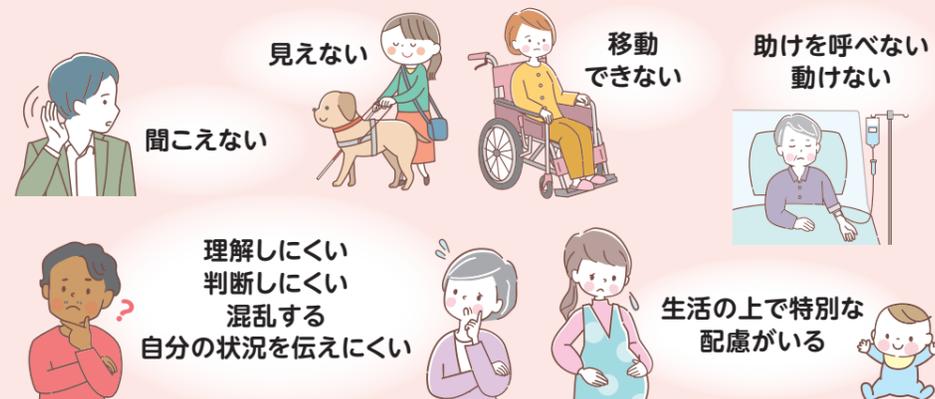
## 考えてみよう・話してみよう

災害時に人権が守られるために、あなたにできることは何だと思いますか？



Blank space for writing answers to the question above.

### 災害時における「要配慮者」とは?



### 自分には関係ない?!

今は元気でも、要配慮者になる可能性が、誰にでもあります。  
●ケガをして動けなくなった  
●聞こえづらくなった  
●認知症が進んだ  
●赤ちゃんができた…など  
もし今災害にあったら…!と、想像してみてください。

参考:「ひとつつながる」災害対策～災害時における要配慮者の避難支援の手引～(滋賀県発行)